

令和6年度				事業実績報告書		
事業所名	社会福祉法人 みのり福祉会 インターグループホーム			職名	人数	備考
施設長・管理者名	(施設長) 児玉 和也 (管理者) 蓑山 幸恵			施設長	1名	小規模やしる・みのりグループホーム施設長兼務
実施事業	指定地域密着型(介護予防) 認知症対応型共同生活介護			管理者	1名	
開設年月日	平成17年12月1日			介護支援専門員	1名	
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-12			生活相談員	名	
正規職員(総合職)数	3名			看護師	名	
正規職員(一般職)数	3名			介護員	11名	
準職員数	4名 (フルタイム 4名:パートタイム 0名)			調理員	名	
契約職員数	7名 (フルタイム 5名:パートタイム 2名)			夜間専門員	2名	
定員	18名	実績利用者数 17.5名/日	達成率 96.2%	介護補助員	1名	
				計	17名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	・認知症になっても、その人らしい暮らしが継続できる支援を行うと共に、家庭的な環境のもと、ご利用者様の有する能力を引き出せるように努めます。 ・また、ご利用者様の心身の状態を把握し、医療機関との連携を図り適切な対応に 努めます。地域の一員として地域活動を通じ、馴染みの関係を大切にします。					
2 運営	(1)『思いやり』と『感謝(おかげさま)の心』をもって、ご利用者様やご家族様及び私たち職員が幸せを感じることでできる施設づくりに取り組みます。 (2)ご利用者様、ご家族様、地域の皆様から信頼される施設を目指します。 (3)ご利用者様本位の接遇、職員間の良好なコミュニケーションを施設運営の心得とし、言葉使い・態度など親切丁寧なサービスを提供します。 (4)ご利用者様一人ひとりの個性を理解することに努め、個人の意思、意欲、人格を大切に接します。 (5)医療機関と連携を図り、健康を維持しながら安心して過ごせるよう支援します。 (6)生活支援 ① ご利用者様の自立支援を目的とし、意欲的に取り組める支援を目指します。ご利用者様が持ち合わせておられる可能性も踏まえ、支援内容に反映します。 ② 日々の生活を送る中で無理のない生活リハビリを実施し、身体機能の維持を目指します。 ③ ご利用者様のニーズに合わせた外出支援を行い、事業所内だけの活動ではなく、地域との繋がりを絶やさず心豊かな生活の実現を目指します。 (7)目標の利用率を達成するため、地域包括支援センターや居宅介護支援センター、地域連携室等と連携を密にし、安定した経営ができるように努めます。					
3 主な実施事業	(1)施設整備事業 ①エレベーター部品交換 217千円 ②2階トイレ換気扇交換 91千円 (2)事業活動 ① 施設の畑では、穀物や果物などの作物を育て、採れた食材を使い、食す楽しみを提供します。 ② 植栽したバラの造形・藤棚の設置を行い、ご利用者様の憩いの場、地域景観の潤いを実現します。 ③ 年1回地域交流カフェに地域の関係機関や住民の皆様をご招待し、地域に根付き開かれた施設を目指します。 ④ 近隣施設と合同で、『なかよしカフェ』を開催し、子どもたちとのふれあいを通して認知症の理解を深め、認知症であっても地域で今までと変わらない生活の実現を目指します。 ⑤「コスモスプロジェクト」の取り組みとして、地域住民、近隣の小学校へコスモスの種の配布等を行い、花植えを通して地域とのつながりを持ち、地域の一員としての理解に努めます。			(1)施設整備事業 ①エレベーター部品交換 未実施(計画変更による) ②2階トイレ換気扇交換 91千円 (2)事業活動 ①畑の野菜を使用し、食事として提供 ②藤棚の設置、バラと藤の剪定を実施 ③3月に開催(参加者50名程度) ④6月、7月に開催 ⑤地域住民にコスモスの種を配布		

	⑥ 私たちは、ご利用者様の大好きな趣味、やりたかったこと、行きたかった場所への支援を行い、日々笑顔で過ごせるように努めます。	⑥帰宅支援、外食、家族との外出などを支援
4 危機管理・BCPの推進	(1)地震、風水害等の自然災害対策及び火災等の予防・発生時の対策 ①災害が発生した場合又は発生する恐れがある場合には災害対応マニュアル及びBCP(水害・震災編)に沿って対応し、人命を守るとともに、必要な業務の継続、被害の軽減に努めます。 施設長を総括責任者と定め、情報収集・連絡班、避難誘導班、安全対策班を組織して有事に備えます。 また訓練内容を検証し、災害対応マニュアル、BCPをPDCAサイクルによる見直しを実施することにより、その精度を高めていきます。 ・災害対応研修・模擬訓練 年 1回以上 ・災害対応訓練・避難訓練 年 2回以上 ②近隣自治公民館との連携による緊急時避難体制を確立します。 ③地震、風水害等の自然災害及び火災に備え、食料品・日用品・防災品・衛生品等の必要品を備蓄します。 (2)感染症・食中毒等の予防対策及び発生時の対策勤務時にはマスクを着用し、換気を意識して三密をさけ、感染防止の徹底を図ります。新型コロナウイルスをはじめとする感染症については、BCP(感染症編)に沿って対応し、人命を守るとともに、必要な業務の継続、被害の軽減に努めます。 定期的に感染予防・まん延防止研修、対応訓練を実施し有事に備えます。 また3か月に1回以上、感染対策(給食)委員会を開催し、訓練内容の検証、感染症マニュアルやBCPの見直しを実施することにより、その精度を高めていきます。 (3)施設内・屋外行事での事故防止対策及び事故発生時の対策 ・年間1回以上、事故対応マニュアルを基にリスクマネジメント研修を実施し、事故防止活動の方法を共有します。また事故対策委員会にて事故内容の分析と対策の検討、マニュアルの見直しを実施することにより、事故防止に努めます。 ・「気づき」の観察力を高めるため、ヒヤリ・ハットを実践し、発生原因の把握と危険予知を行い、事故への予防策を講じていきます。 ・設備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンス、環境整備に努めます。 ・車両について使用前の日常点検などの安全管理を徹底するほか、運転の状況などを把握するため、運転日誌等の記録を行います。 ・安全運転管理者を選任し、運転者に対する運転指導や運転者の状況把握に努めます。またアルコールチェッカーを使用し、酒気帯び運転を防止します。	①BCPに沿って研修を実施 ・災害対応研修・模擬訓練 年2回実施 ・災害対応訓練・避難訓練 年4回実施 ②未実施 ③備蓄品の確認を実施 ・計画通り実施 ・感染予防研修実施(7月・11月) ・感染症対策委員会(4月・6月・7月・10月・3月) ・給食委員会(4月・7月・10月・2月) ・計画通り実施 リスクマネジメント研修 年1回実施 ・計画通り実施 ・点検を実施 ・計画通り実施 ・計画通り実施
5 職員の資質向上と研修	施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。 (1)外部研修への参加 鳥取県社会福祉協議会・日本グループホーム協会・地域包括支援センター等が、主催する研修へ参加し、知識・技術のレベルアップを図ります。 (2)法人内部研修への参加 法人内の研修、Web研修へ研修内容に応じた職員の参加を促し、必要な知識、各種の介護技術の習得を図ります。 (3)施設内のOJT・職場研修の実施 ①毎月専門職が講師となり研修を行い、全職員のスキルアップを図ります。 ②外部研修内容を、伝達講習をして知識・技術を共有していきます。 ③新採用職員は知識・技術・経験の高い職員により実務を通じた研修を行い、レベルアップを図ります。	・計画通り実施 12名参加(介護専門職研修等) ・計画通り実施(メンタルヘルス研修・接遇研修等) ①毎月実施 計12回 参加者 延べ87名 ②毎月実施 ③新採用職員研修 1名に実施

	④ 身体拘束・虐待防止委員会を開催(3ヵ月に1回以上)すると共に定期的な研修会を実施し人権を尊重したケアが出来る施設を目指します。 (4)職員の資格取得のための取り組み 法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップの支援に努めます。 (5)職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底 報連相の徹底」「報連相ルールの遵守」に取り組むことにより、ご利用者様及びご家族様の満足度向上・事故トラブル回避・職員間のチームワーク力向上・仕事の効率化・職員の能力開発に努めます。	④身体拘束廃止・虐待防止委員会(4月・6月・10月・11月) ・未実施(該当者なし) ・計画通り実施
6 ガバナンスの強化	法令及び法人内諸規程に基づき事務・事業を適切に行うと共に、個人情報の保護等、その他法令違反行為防止に努め、適正に事業を運営します。 身体拘束・虐待防止委員会を開催(3ヵ月に1回以上)すると共に、定期的な研修会を実施し人権を尊重したケアが出来る施設を目指します。	・計画通り実施 委員会にて研修実施
7 SDGsの推進	○目標2 飢餓をゼロに ・食物を大切にするため、ご利用者様の嗜好に配慮した個別食の提供を実施し、フードロスを削減していきます。 ・持続可能な農業の取り組みとして、施設の畑で安全な作物を育て、ご利用者様や地域の方、子どもたちが一緒に食べる楽しみを育みます。 ○目標3 すべての人に健康と福祉を ・命が等しく守られる地域を目指して、認知症の理解の推進を図るため、近隣・地域住民を招いた地域交流カフェを開催します。 ○目標14 海の豊かさを守ろう ・一人一人がゴミを増やさない努力をします。 ・プラスチック製品の使用量を減らすために、エコバックやマイボトルを使用します。 ・ご利用者様の排泄パターンやコントロールの方法を把握し、リハビリパンツ等の使用量を減らし、ゴミを削減していきます。	・計画通り実施 ・計画通り実施 出来上がった野菜をご利用者様の食事、近隣施設へ提供 ・3月実施 ご利用者様・ご家族様・地域包括支援センター・近隣施設等の参加あり ・計画通り実施 ・計画通り実施
8 職員の健康維持・増進	・職員の健康診断を実施し、健康状態と課題の把握を行います。 ・指導、改善する事項がある場合は医師と連携を持ち、健康増進に取り組めます。 (年2回) ・職員が高年齢となっても健康で働き続けるための取り組みとして、月1回の体力テストの実施、毎日のストレッチ体操等を実施します。	・計画通り実施(7月・1月) ・計画通り実施
9 各種団体との連携と地域交流及び地域貢献	・ご利用者様とご家族様に保育園、地域・団体等との交流の場を設け、社会の一員として積極的に社会との繋がりを交流の機会が持てるよう努めます。 ・近隣地域へ積極的に出向き、地域住民の方に施設運営の理解を深めるとともに共助の関係を目指します。 ・学生、傾聴、介護ボランティア等の受け入れを行い、グループホームやご利用者様への理解に繋がるよう努めます。	・計画通り実施(園児・小学生・地域住民等) ・計画通り実施(運営推進会議等に参加) ・傾聴ボランティア受け入れ 延べ24名

季節・年間行事

事業所名：インターグループホーム

実施月	行事計画	行事实績
令和6年 4月	誕生会・花見外出・花祭り 傾聴ボランティア なかよしカフェ	花祭り(10日)18名、花見外出(2日、5日、21日)18名、誕生会18名(20日、24日)
5月	誕生会 傾聴ボランティア 家族交流会	ドライブ外出(4日、16日)8名、ソフトテニス大会観戦(5日)4名、誕生会(11日)9名、 あやめ池外出(25日)4名
6月	誕生会 粽作り 傾聴ボランティア	粽作り・なかよしカフェ(1日)18名
7月	誕生会・七夕まつり 介護相談員 傾聴ボランティア	誕生会(4日)9名、七夕まつり・なかよしカフェ(6日)18名、 バイオリン・ハープコンサート(10日)2名
8月	誕生会・福祉の里夏祭り 傾聴ボランティア なかよしカフェ	帰宅支援(14日)1名、買い物外出(18日)2名、誕生会(30日)9名
9月	誕生会・敬老会 合同夕涼み会 傾聴ボランティア	敬老会(19日)18名
10月	誕生会 ミニ運動会 傾聴ボランティア	ミニ運動会(25日)18名、誕生会(29日)9名
11月	誕生会・福祉の里文化祭 傾聴ボランティア 紅葉狩り	福祉の里文化祭(16日)18名、誕生会(24日、28日)18名
12月	誕生会・クリスマス兼家族交流会 傾聴ボランティア 餅つき なかよしカフェ	クリスマス会(18日)18名、誕生会(22日)9名
令和7年 1月	誕生会・初詣・新年初釜 どんど 傾聴ボランティア	初詣(3日～5日)17名、新年初釜(10日)18名、とんど(15日)1名、 誕生会(16日、22日)18名、誕生日外食(22日)2名
2月	誕生会 節分(豆まき) 傾聴ボランティア	節分(2日)18名、誕生会(15日)9名、誕生日外食(15日)2名
3月	誕生会・ひなまつり 傾聴ボランティア 地域交流カフェ	ひなまつり(3日)18名、誕生会(10日)9名、誕生日外食(10日)2名、 誕生日外食(22日)2名、地域交流カフェ(28日)18名